

KOSEN TOPICS

高専トピックス

釧路高専

学生による秋の花植え大会実施

釧路高専は平成18年度現代GP(テーマ4)で選定された「社会接続問題解決型の環境持続性教育」の取組の一環として、学生有志による秋の花植え大会を実施しました。この催しは同取組の中の環境ボランティアの展開として位置付けられ、今後、グリーンレポートの作成等による環境意識の醸成に繋がっていきます。

この催しは、春に続く花植え大会の第2弾として10月28日(土)に実施され、有志学生等約60名によりチューリップの球根300個を植え、併せてゴミ拾等の清掃活動も行いました。当日は本校の授業参観・保護者懇談会及び中学生等を対象とした学校説明会も実施されており、来校した保護者等にも学生の活動の一端を知っていただきました。



▲チューリップの球根を植える学生有志

▲花植え大会に参加した学生有志

宮城高専

移動実験車「リカレンジャー」の大活躍 —マスコミも注目—

平成16年度より文部科学省の科学研究費に課題採択された、移動実験車による出前体験教室の事業は今年で3年目を迎えました。移動実験車としてウイング式4トントラックを購入し、これに「リカレンジャー」という愛称を付けそのイメージキャラクターとして図のようなロゴをデザインしました。活動開始と共に「リカレンジャー」の人気は予想を超え、出動要請が相継ぎました。昨年度は児童館や地域の子供会行事等に11回出動し、参加者は700名を超えました。今年度は17回の出動を予定し、参加者は1000名を超える予定です。この活動はマスコミにも注目され、NHKをはじめ全ての地元テレビ局で紹介され、ある放送局では計4回も放映されたほどの人気となりました。また読売・朝日や河北新報等の新聞にいずれも大々的に取り上げられました。



▲実験に驚きの表情を見せる参加者たち

舞鶴高専

PRフェスティバル開催

舞鶴高専では、平成17年度からPRフェスティバルを開催し、平成18年度は京丹后市及び舞鶴市教育委員会の後援を受けて、メイン(京丹后市ショッピングセンター)、ら・ぼーる(東舞鶴ショッピングセンター)、舞鶴勤労者福祉会館(西舞鶴)の3カ所で開催しました。これは、小・中学生の理科離れを防ぎ、舞鶴高専の良さを知ってもらおうと企画したものです。

当日はメイン693名、ら・ぼーる431名、舞鶴勤労者福祉会館58名の参加があり、ショッピングセンターなど人が多く集まる場所での開催が大きな効果を生むことがわかりました。

ロボット操作、ライトレースカー、紙飛行機作り、エコランカー展示、舞鶴高専紹介パネル等の企画に多くの子ども達が詰めかけました。特にロボット操作では列ができるほどの人気であり、子ども達はロボットの動きに目を輝かせて操作していました。

参加者からのアンケートでは、「高専に行きたいと思った」、「ロボットにいろいろな機能がおりおもしろかった」、「ロボコン頑張ってください」等、好意的な意見が多く寄せられ、大変好評でした。

写真はPRフェスティバルの様子



※開催日は、メイン—9月10日(日)、ら・ぼーる—9月17日(日)、西舞鶴—9月18日(月・祝)

宇部高専

有機性廃棄物の資源・エネルギー回収型処理プラントの開発

本校を研究代表機関とする産学官連携グループは、年間2億トンも発生する下水汚泥や食品廃棄物などの有機性廃棄物を資源・エネルギーに変換して再利用する技術を開発しました。本技術は、「経済産業省地域新生コンソーシアム研究開発事業」平成15-16年度委託事業により開発されたもので、NHK「地球大好き 環境新時代」で全国に放映・紹介されました。本技術は参画企業により商品化され、現在、数基の処理プラントが化学工場及び食品工場に納入され実際に稼動しています。



▲宇部市東部浄化センターに設置された実証実験用処理プラントの全景



▲同処理プラントの高速メタン発酵によるバイオガス回収設備

八代高専

「やつしろ建築MAP」を作成、八代市の魅力を再発見しよう

八代高専では、八代市内の新旧の建築物などを可能な限り網羅し、案内するガイドマップである「やつしろ建築MAP」を、土木建築工学科の教員と学生が中心となり作成しました。これは、平成18年6月に八代市で開催された「平成18年度九州ブロック『建築士の集い』熊本大会」において参加建築士に配布・公表されたもので、現在も本校のHP上で公開されています。

当該MAPは、地元テレビ局からの取材を受けニュース番組で放送され、また、関係団体へ配布することで、市民への周知が広まりつつあります。

今後は、熊本県や八代市との連携により、地域振興の一環として県や市の発展に貢献していくことで、市民が八代の魅力を再発見し、また、将来的には観光ガイドとしても役立つよう、活用推進を図っていきます。

なお、「やつしろ建築MAP」は、下記アドレスからご覧いただくことができます。

<http://www.yatsushiro-nct.ac.jp/guide/depts/img/washizukami-150.pdf>



▲やつしろ建築MAP